

福島原発事故を検証する パート2

島根原発訴訟公開勉強会

炉心損傷は、津波の前に地震で始まった！

と き 4月6日(日)

14:00~

会 場 県民会館303

資料代 500円

中国電力は、島根原発2号機の規制基準適合性確認審査を申請し、3号機の審査の準備も行っています。

審査を行う規制委員会は、電力会社に対して「福島原発が炉心溶融を招いた原因は津波にある」とし、津波対策のみの安全対策を求めました。

ですが、朝日新聞連載の「プロメテウスの罫」でも紹介された元東京電力社員で福島第一原発で炉心設計管理に携わってきた木村俊夫さんは、東電が公表した過渡現象記録装置のデータから、地震で圧力容器に繋がる配管から冷却水が漏れ、事故の進展を加速させるキッカケとなった。」と解析されています。

地震による配管損傷の可能性は、地震大国日本で、原発を動かすこと自体を根本的に問わなければなりません。それでも、技術者である木村さんたちの訴えは無視されたままです。

あの福島第一原発で技術者として働いてきた木村俊雄さんのお話をぜひお聞きください。

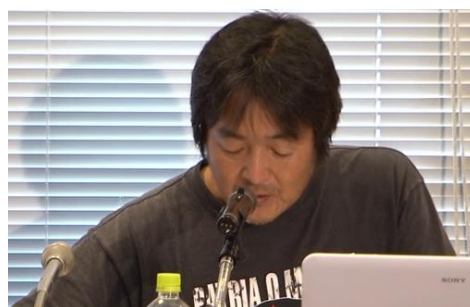
島根原発は
安全対策でメルトダウンが
防げるのだろうか？



爆発した福島原発
島根原発は大丈夫なの？



講師 木村俊夫氏



1983年東京電力入社。福島第1原発にて12年間、炉心設計管理業務に従事。2000年に退社。

事故後、高知県土佐清水市でエネルギーと食糧の自給自立を目指した生活を送る。独立型ソーラーシステムの設計・施工を中心に活動中。



主催 中国電力・島根原子力発電所3号機の運転をやめさせる訴訟の会

連絡先：090-1330-6568（布野）